

**GLM、オリックス・レンテックと組んで
車の心臓部「プラットフォーム」のレンタル開始
EV 向け試作品の搭載・動作検証など、メーカーの研究開発用の需要見込む
各社の EV 分野進出を後押しするサポートプラン付き**

EV(電気自動車)メーカー「GLM(株)」(京都市左京区)は、オリックスの子会社で産業機器レンタルの「オリックス・レンテック(株)」(品川区北品川 5)と組んで、車の心臓部に当たる「プラットフォーム」*のレンタルを開始します。

「プラットフォーム」は車台とパワートレインで構成する車の中核部分で、同社を通じて1~5年、各社に有償で貸し出します。

*車台(フレーム・シャシー・ステアリング等)とパワートレイン(モーター・バッテリー・車両制御ユニット等)

EV 向けの部品や製品、システムを開発する企業の、試作品の搭載・動作検証など、研究開発用としての需要を見込んでおり、年間6社6台程度の利用を目指します。

両社ともに、車のプラットフォーム部分をレンタルするのは初めてで、世界でも稀なサービスです。

料金は60カ月のレンタルプランで月額14万3千円(税別)で、2018年8月20日(月)からサービスを開始します。

同社を通じて貸し出すのは、当社スポーツカータイプのEV(スポーツEV)「トミーカイラ ZZ」に使用する「第1世代プラットフォーム」です。第1世代は外装部分(外観ボディー)と完全に分離しており、プラットフォームだけで走行できるのが特長です。

EV 向けに部品や素材、システムを開発するメーカーは、開発中の試作品をプラットフォームに搭載、その製品の動作確認や、性能検証・評価などができます。

また本レンタルサービスには、各社が抱える製品化までの悩みに対して、大手自動車メーカー出身者ら当社技術者が課題を抽出し、解決方法をアドバイス、プランニングするレンタル前のサポートプランを組み入れました。当社の強みである、自動車関連事業の技術・開発支援のノウハウを生かします。

当社はこれまで、研究開発にプラットフォームを使いたい企業に対して、トミーカイラ ZZ を販売してきました。レンタルサービス事業の開始で、企業は1台750万円(税別)の車両(プラットフォーム)購入費の初期負担を軽減できます。導入費を抑えたい企業のニーズに応え、利用を促す狙いです。

世界的なEVシフトが加速するなか、EV市場に新規参入したい企業や、自社の自動車事業を拡大したい企業はますます増えています。部品メーカーやサプライヤーのほか、素材や化学メーカー、IT企業など、自動車産業以外の利用も想定しています。



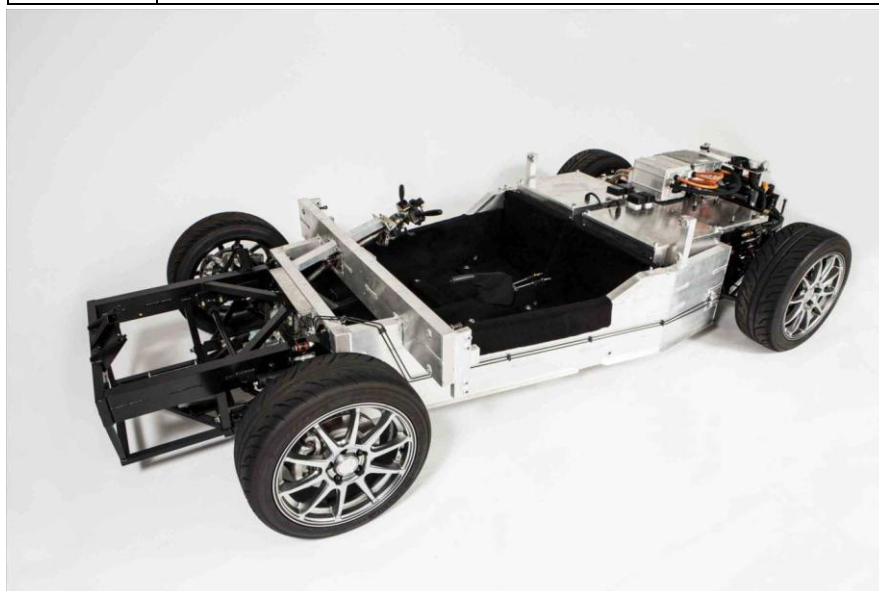
レンタルで敷居を下げて、共同開発などのきっかけづくりに

当社は、<1>「自動車メーカーのEVの量産・研究開発支援」や、<2>「部品・素材・化学・ITメーカー等の自動車関連事業の技術・開発支援」を展開する「プラットフォーム事業」に注力する事業方針を、今年3月に発表しています。今後は、多車種の自動車に応用、展開できる新たな「第2世代プラットフォーム」の開発に着手していきます。

今回の業務提携は、こうしたプラットフォーム事業強化の一環です。オリックス・レンテックの営業網を活用することで、これまで以上に「プラットフォーム事業」の営業間口が広がる効果も期待しています。レンタル利用をきっかけに、共同開発等のより大きなビジネスにつなげたい考えです。

プラットフォームのレンタルサービスについて

事業主	オリックス・レンテック株式会社（取締役社長 井尻 康之） （所在地：東京都品川区北品川5-5-15大崎プライトコア）		
対象製品	GLM(株)が開発・販売するスポーツEV「トミーカイラ ZZ」のプラットフォーム		
提供開始	2018年8月20日(月)		
参考価格	月額143,000円(税別) ※60カ月レンタルの場合		
契約期間	12カ月～60カ月 ※1カ月単位で指定可能		
契約形態	Lレンタル(オペレーティングリース)	延長利用	1年ごとの更新が可能
問合せ	Tel:03-3473-8470(オリックス・レンテック株式会社 営業統括部)		
途中解約	可能 ※解約時にオリックス・レンテックが、解約差額金を請求		
備考	当社技術者が課題解決のアドバイスをするサポートプラン含む		
	テストコースや私有地内での走行のみで、公道・市街地での走行は不可(車両ナンバーなし)		
	走行安全について通常の車両同等の安全性を担保するものではありません		
	以下は契約に含みません		
	◇定期交換が必要な消耗品類(補機用バッテリーやタイヤなど)		
	◇代車や装置の代替品および当社による保守・修理		
	◇契約中途のバージョンアップ費用等	◇車両含む機材の運搬費用	
◇オリックス・レンテックによる装置の取扱説明および取り付け取り外し			
◇返却時の原状復帰費用			



<ご参考資料／GLMのプラットフォーム事業について>

車の中身(心臓部分)を提供するプラットフォーム事業に世界が注目



当社は完成車の開発、販売の他、車の心臓部にあたるプラットフォームやその一部、ひいては開発ノウハウや自動車関連企業・機関との協力関係(GLM エコシステム)を、カーメーカーやその他の企業に提供する「プラットフォームビジネス」も事業の柱に据えています。

GLMのこの「プラットフォームビジネス」が世界から注目をされるのは、当社と組めば、例えば自動車メーカー以外でも自社オリジナルのEVを開発することができる点です。

当社はプラットフォーム事業を通じて、EVに新規参入したい各国企業の、開発部隊の役割を担う考えです。

EVは今、環境対応という社会的ニーズの高まりを受けて、世界の様々な業種が注目しています。「部品点数が少なくガソリン車より参入障壁が低い」といった見方もされますが、量産を目指した開発となると高い技術力や莫大な初期投資が必要で、ゼロからビジネスを立ち上げるのは困難です。

そうした背景から、当社のプラットフォーム事業は、新たな市場を切り開くものとして、欧州やアジアを中心に国内外で注目を集めています。連携を検討している企業もIT企業や電気メーカーのほか、EVを使ったモビリティ(移動手段)を自らの事業に組み込もうとしているサービス事業者まで多岐にわたります。



旭化成と共同で、同社の最先端技術や素材など計27品目を搭載したコンセプトカーを開発(2017.5発表)。車両内部に、「トミーカイラZZ」のプラットフォーム部分を活用しているので、実際に走るのが特長。素材メーカーが“走る車”を完成させたことは、驚きを持って迎え入れられました

中国・インドを中心とした新興国の自動車メーカー等から幅広い依頼

プラットフォーム事業は主に2軸で展開します。一つは「①自動車メーカーのEVの量産・研究開発支援」で、もう一方が「②部品・素材・化学・ITメーカー等の自動車関連事業の技術・開発支援」です。

①として、フレームやシャシー、制御システム等といった車両内部のモジュールや、技術基盤等の中核部分を外部に提供し、EVの量産・開発を支援します。実際に、中国やインドといった新興国を中心に、EVの量産支援に関する引き合いは増えており、依頼内容も多岐にわたります。

これまで多くの実績を積んできた②では、各社の新技術や部品の共同開発、保有技術の自動車分野への応用、先行開発品や既存製品を搭載したコンセプトカーや試作車両の製作といった、幅広い依頼に対応します。自動車開発を総合的に見ることができる完成車メーカーとしてのノウハウをもとに車両開発の支援を行います。

世界的なEVシフトが加速するなか、EV市場に新規参入したい企業や、自社の自動車事業を拡大したい企業はますます増えています。当社は、そうした各社の課題を解決する自動車メーカーとして、EV市場において、独自のポジションを確立したい考えです。

GLM のこれまでの取り組み

西暦	月	略歴
2010	4	京都大学の京都電気自動車プロジェクトを母体にグリーンロードモータース(株)設立
		—2014年4月にGLM(株)へ社名変更
2014	6	スポーツタイプの電気自動車「トミーカイラ ZZ」の量産仕様による国内認証を取得
	8	同「トミーカイラ ZZ」の初号車出荷
2015	10	同「トミーカイラ ZZ」の専用ファクトリーでの量産開始
2016	9	EV スーパーカー「GLM G4」をパリモーターショーで披露
2017	5	旭化成と共同開発したコンセプトカー「AKXY(アクシー)」を披露
	6	帝人と共同開発している“樹脂製フロントウインドー”を一般公開
	7	ボッシュエンジニアリングと、車両制御の分野での協業を発表
2018	1	東洋ゴム工業との、EV 用の足回りモジュール(複合部品)の共同開発を発表
	5	京セラと協業し、同社の最新技術を「トミーカイラ ZZ」に搭載したコンセプトカーを披露



GLM 会社概要

社名	GLM 株式会社	設立	2010年4月1日
代表	代表取締役社長 小間裕康	従業員数	27人(2018年3月末)
本社	〒606-8317 京都市左京区吉田本町京都大学 VBL		

報道各位からの問い合わせ先

GLM(株) 広報 担当:河内

tel. 0774-39-8822 携帯:090-5166-2534(河内) mail: kawauchi@glm.jp

〒612-8418 京都府京都市伏見区竹田向代町 74-3

または GLM 広報事務局((株)Clover PR 内) 担当:澤本

tel.03-6452-5220 携帯:070-5082-8660(澤本) mail: cloverpr@cloverpr.net

〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂 2-10-7 新大宗ビル 2号館 14階